

「第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会」に参加しました

7月11日（金）、12日（土）の2日間、さいたま市大宮区の大宮ソニックシティで開催された「第71回関東地区高等学校PTA連合会大会 埼玉大会」に、PTA会長の鶴田さん・副会長の高木さん・浅野教頭・鈴木渉外部長の4名で参加しました。初日は、「防災とPTA」をテーマにした第5分科会に参加しました。埼玉県立大宮武蔵野高校の実践発表と、「災害時、避難所となる学校で起きること」と題する、示唆に富む講演を拝聴しました。講演の講師は、東日本大震災直後、宮城県石巻市で避難所運営にあたられた元宮城県立石巻西高等学校校長で防災士の齋藤幸雄氏。「災害直後の避難所では防災マニュアル通りにはいかない。正解ではなく、成解を求める視点をもつことが大事」、「避難所では多くの場面で子どもたちに助けられた。避難生活では、子どもの役割がある。何でも大人がやれると思ったら大間違い。子どもに支えられる」、「絶望と希望は背中合わせ」など多くのことばに感銘を受け、とても貴重なお話を聞くことができました。

2日目の全体会は、埼玉県立大宮高校音楽部による合唱の披露でスタート、開会行事をはさみ、埼玉県出身の第170回芥川賞受賞作家である九段理江氏による「対話を終わらせないために」という演題で記念講演が行われました。九段氏の講演は、「確信（正解）を持たない勇気＝疑い、問い続ける忍耐」、「衝突、対立が生まれる豊かさを祝福する＝異なる物語を共存、調和させる」など示唆に富む内容でした。

令和8年度の関東大会は群馬県開催となります（高崎市のGメッセを会場に従来の2日開催から1日開催に変更）。なお、令和9年度の関東大会は茨城県開催となります。地元開催ということもあり、PTA会員の皆様には大会の準備運営等においてご支援・ご協力をいただくこととなりますが何卒よろしくお願いいたします。

